

墨田区立第三吾嬬小学校

令和5年度第2回
校長「語らいサロン」

令和5年5月20日(土曜日)

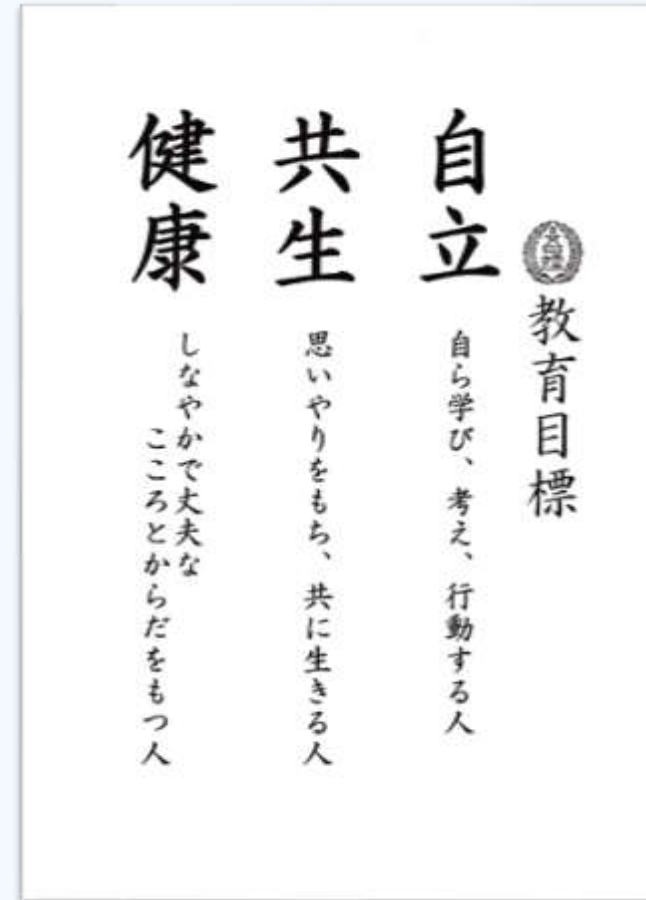
本日のテーマ

「今年度の重点取組についての意見交換」

- ・4月保護者会全体会のおさらい
- ・寄せられた質問、意見について
 - ・今年度の重点取組について

今年度の重点取組について

- 学校教育目標
- 今年度の重点目標 「**自立**」



令和4～6年度 重点取組・研究テーマ

児童の主体性の育成

具体的な取組(1)

「自ら学び、考え、行動する人」

- ・校務分掌を全面改定
- ・研究組織を全職員体制に

→ 研究推進委員会に

学力向上部、特別活動部、LIM部の

三つの部を設置

令和5年度 第三吾嬬小学校 研究推進に特化した校務分掌の再編イメージ

R4年度まで

4 部 会	生活指導部
	特別活動部
	保健給食部
	研究推進部

事務 部 会	教務部
	経営支援部

特別 委 員 会	学力向上委員会
	体育的行事委員会
	文化的行事委員会

他

*全職員が上記の3部門にそれぞれ所属。(一人が三つの分掌を受け持つ)

R5年度から

5 部 会	教務部
	生活指導部
	保健給食部
	経営支援部
	特別支援部 <small>新設</small>

研究 推 進	学力向上部
	特別活動部
	LIM部

プ ロ ジ ェ ク ト チ ー ム	校務改善
	通知表(評価)
	学級編成
	等

特別 委 員 会	体育的行事
	文化的行事

他

*全職員が5部会に所属。研究推進は三つの部門に分かれて全員が所属。研究統括主任とそれぞれの部に長をおく。

*LIM: Leader in Me の略

*プロジェクト・チームは主幹教諭と担当主任を中心に、課題別に臨時に発足する。研究推進と合わせて、総合的に働き方改革を進める。

*特別委員会には各担当のみ所属。

具体的な取組(1)

学力向上部

- 「学びの主体を子供に」

「教員がどう指導するか」から「児童が主体的に学ぶ」スタイルへの大変換

- 教科担任制
- 「家庭学習」の改革
- 「評価方法」の改革



具体的な取組(1)

特別活動部

- 児童の主体的な活動を応援
- 委員会、係、当番
 ＝みんながリーダーを経験
- 話し合い活動の重視（多数決ではなく、みんなが合意できる案を生み出す力を育成）
- 行事等に子供の意見を反映



集会委員による児童集会

具体的な取組(1)

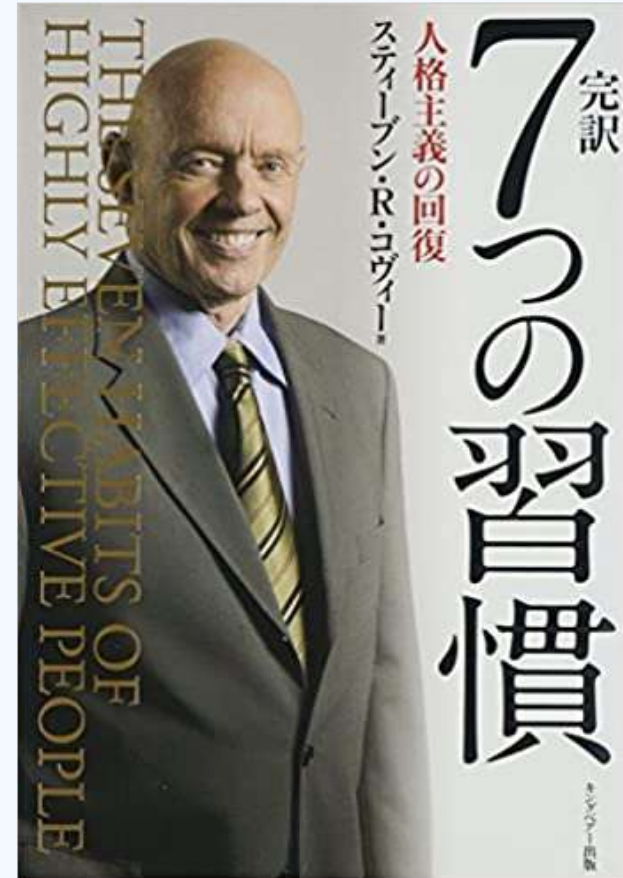
LIM (LEADER IN ME) 部

- 「7つの習慣」をベースにおいた主体性育成プログラムの活用
- 令和5年度は、教職員の研修を中心に、児童には「**自立**」の獲得を目指す

1 「主体的である」

2 「終わりを思い描くことから始める」

3 「最優先事項を優先する」



具体的な取組(2)

「思いやりをもち、共に生きる人」

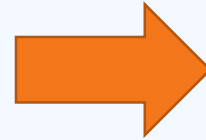
- 人権尊重
- いじめ防止、不登校への対応
- 特別支援教育、インクルーシブ教育
まなびの教室との連携
学習室「みどり」の充実



学習室「みどり」

事前に寄せられた質問

- 今年度の取組はもう始まっているのですか？
- 学年が上がるにつれてどのように変化していくのですか？
- 重点取組の研究報告は定期にあるのでしょうか？また、その結果が子どもたちの教育にそのまま反映されるのでしょうか？



基本的にやることは同じですが、発達段階に合わせた「主体性の育成」を目指します。

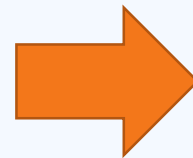
主体性＝「自己決定と決定に責任をもたせる」

研究の様子は、学校便りやホームページで随時お知らせします。そして、毎回の土曜学校公開で研究の成果を見ていただくことができれば何よりです。

この研究は、教員の意識改革と実践がすべてだと考えています。

事前に寄せられた質問

- 宿題で漢字ドリルや計算ドリルをやっていたが、授業時間帯にそれらをこなすのか、はたまた、ドリルは廃止なのか。そもそもそういう概念が変わるのか。
- 受験生は従来の通知表が必要(特に都立中高一貫校)必要な子にはスムーズに対応してあげてほしい。

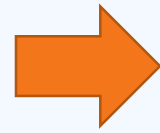


ドリルは授業中に使用します。そのほか、ミライシード等もありますので、子供たちが自分の必要に応じて練習できるようになるでしょう。一律に同じ課題を全員に課す、ということとはなくなっていく予定です。

受験については個別に対応することになりますが、受験に不利になるようなことは決してありませんのでご安心ください。

事前に寄せられた質問

- 一年生の複数担任制についてどのように取り組んでいますか？



Education Assistant 高橋先生

「エデュケーション・アシスタント」は、東京都教育庁の「教員の負担を軽減し、教育の質を向上させる『働き方改革』」の施策として、今年度より任用の始まりました。「副担任」相当職として、1年から3年のうち配置された学年の各学級経営を補佐する職です。

主な業務は

- (1) 家庭への連絡文書や調査資料の作成補助、提出物の集約
- (2) 教材の準備や、学習・給食・清掃等の指導補助
- (3) 学校行事の運営や地域などの外部連携に係る業務補助
- (4) 保護者対応、電話対応、来客受付
- (5) 子供の観察や対応、子供に関する情報共有を行う学年打ち合わせへの出席 等

そもそも

なぜ、主体性の育成なのか？

- 学力の向上、やる気
- 生活指導上の課題(いじめ、不登校、問題行動など)
- 子供の自己肯定感の低さ
- リーダーシップの欠如
- 子供の幸福度の低さ
- 特別支援、インクルーシブ教育
- 教員の働き方改革 などなど

「みんなの学校」が教えてくれたこと

～学び合いと育ち合いを見届けた3290日～ 木村泰子

2015年2月から全国で公開され、大ヒットしたドキュメンタリー映画『みんなの学校』。この映画の舞台となった大阪市の公立小、大空小学校では、「自分がされていやなことは人にしない」というたった一つの校則と、「すべての子どもの学習権を保障する」という教育理念のもと、障害のある子もない子もすべての子どもが、ともに同じ教室で学んでいます。全校児童の1割以上が支援を必要とする子であるにも関わらず、不登校児はゼロ。他の小学校で、厄介者扱いされた子どもも、この学校の学びのなかで、自分の居場所を見つけ、いきいきと成長します。また、まわりの子どもたちも、そのような子どもたちとのかかわりを通して、大きな成長を遂げていきます。

